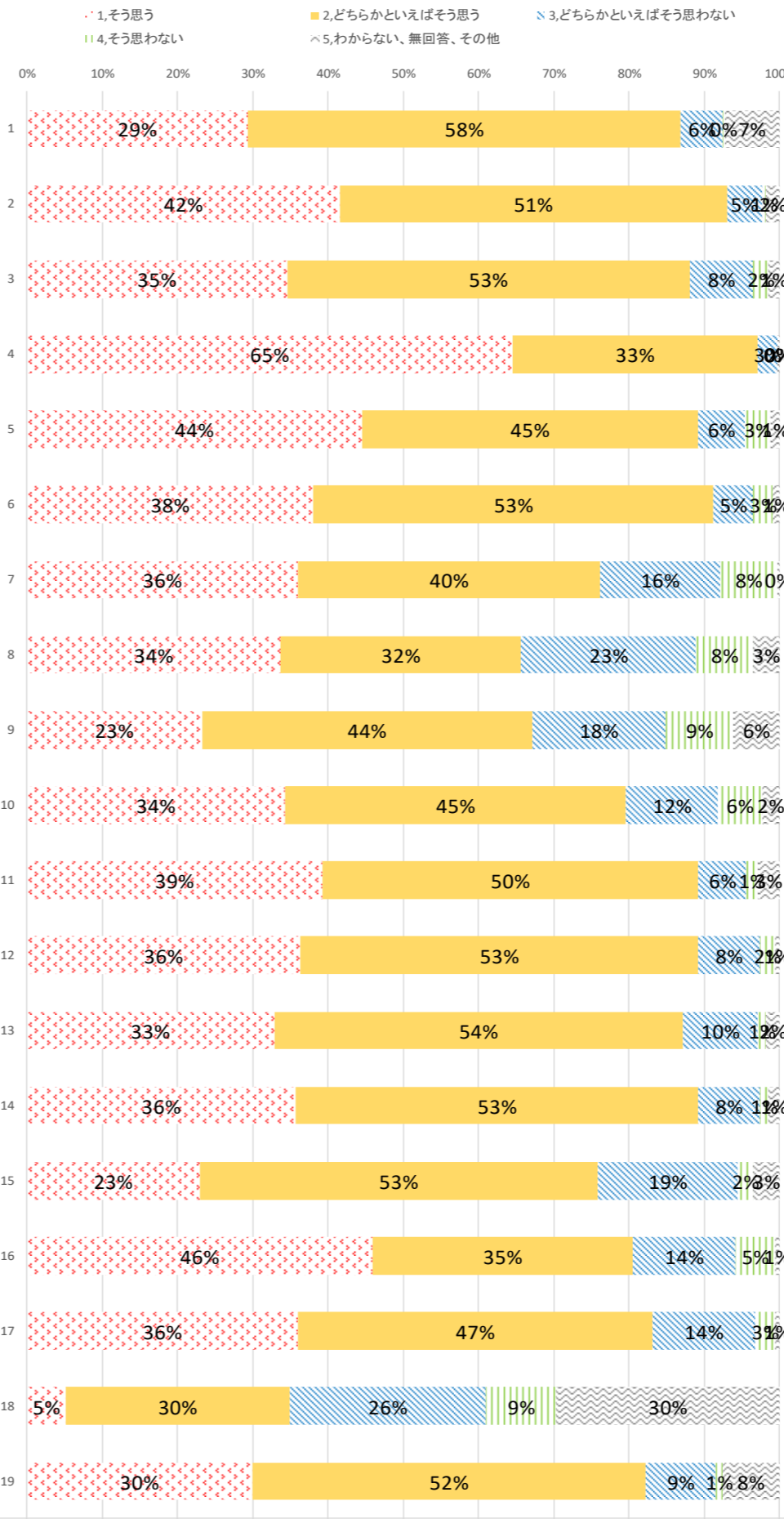


2023年度 町田第五小学校 学校評価(保護者対象)の結果と考察

共通の評価項目			1 そう 思う	2 ど ち ら か と い え ば	3 ど ち ら か と い え ば	4 そ う 思 わ な い	5 無 回 答 、 そ の 他	※ 1、 2、 3、 4、 5、 6 使 用 す る 環 境 に な い	合 計 (人)
(1) 学校やお子様の様子などから「回答ください。」	ア 社 会 に 開 か れ た 教 育 課 程 の 実 現 に 関 する こ と	①学校は、地域人材を積極的に活用した教育活動を行っている	101	198	19	1	25		344
		②学校は地域と一体となって子どもたちを育てている。	143	177	16	2	6		344
		③学校は、保護者や地域の方に対して情報発信をしている。	119	184	29	7	5		344
		④学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している。	222	112	9	0	1		344
		⑤学校は、保護者への連絡・相談を誠実に行い、迅速に対応している。	153	154	21	12	4		344
イ 確 かな 学 力 の 育 成 に 関 する こ と	ウ 豊 か な 心 の 涵 養 (心 の 教 育 及 び 生 活 指 導 含 む)に 関 する こ と	①お子様は、各教科の基礎的・基本的なことが身に付いてきている。	131	183	18	9	3		344
		②お子様は、宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。	124	138	55	26	1		344
		③お子様は、学校ですすんで読書をしている。	116	110	80	26	12		344
		④お子様は、英語学習に楽しく取り組んでいる。	80	151	61	31	21		344
		⑤お子様は、ICT(学習機器)を積極的に活用している。	118	156	42	20	8		344
エ の 育 成 に 関 する こ と	オ 小 中 一 貫 (連 携) 教 育 の 取 組 に 関 する こ と	①学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、子供の人権を大切にしている。	135	172	22	5	10		344
		②お子様は、学校のきまりや家庭でのきまりを守っている。	125	182	28	7	2		344
		③お子様は、あいさつをきちんとしている。	113	187	34	4	6		344
		④お子様は、交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている。	123	184	28	4	5		344
		⑤お子様は、ICT(学習機器)、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている。	79	182	64	7	12		344
エ の 育 成 に 関 する こ と	オ 小 中 一 貫 (連 携) 教 育 の 取 組 に 関 する こ と	①お子様は、日常的に、運動やスポーツ(遊びや部活動を含む)に積極的に取り組んでいる。	158	119	47	18	2		344
		②お子様は、食に関する知識や望ましい食習慣、生活習慣が身に付いている。	124	162	47	9	2		344
エ の 育 成 に 関 する こ と	オ 小 中 一 貫 (連 携) 教 育 の 取 組 に 関 する こ と	①学校は、南大谷中学校と連携して教育活動に取り組んでいる。	18	102	90	32	102		344
		①学校は、校内整備や校内美化に取り組んでいる。	103	180	32	3	26		344

配布数	回収数	回収率	記名回答数	記名回答率
533	344	64.5%	325	94.5%

保護者向けアンケート「共通の評価項目」集計結果グラフ



学校評価 保護者向けアンケート 町田市共通の評価項目結果について

○町田市の共通項目については、以下のような結果となりました。

- ア 社会に開かれた教育課程の実現に関すること
 - ・教育活動の公開については、昨年度同様、肯定的な回答が98%と高い数値となっている。
 - ・地域人材の活用については肯定的な回答が87% (一昨年度76%、昨年度85%) となっており、高い値で評価が安定した。
 - ・情報発信については、学校だより、保健だよりをデータ配信に切り替えたが、肯定的な回答88% (昨年度84%) と特に影響がなかった。
- イ 確かな学力の育成に関すること
 - ・各教科の基礎的・基本的なことがらの定着について、肯定的な回答が昨年度同様92%だが、「1, そう思う」は昨年比6%減少している。
 - ・読書については、肯定的な回答が66% (昨年度64%) と低い数値である。読書活動の充実のための取組を一層推進する必要がある。
- ウ 豊かな心の涵養に関すること
 - ・きまりを守ることにについては肯定的な回答が89% (昨年度90%) で、ルールを守る意識は高い数値を保っている。
 - ・いじめ防止の取組については、肯定的な回答が89% (一昨年度81%、昨年度92%) で、高い値で安定してきた。引き続き家庭と連携した取組を進める。
 - ・ネットマナーに関しては、肯定的な回答が74%となった。学習用端末の管理を担当が行っていることもあり、児童が望ましくない使い方に直面して学ぶ機会が多くないことも、この値が高くない一因だと考える。
- エ 健やかな体の育成に関すること
 - ・運動の習慣化について、肯定的な回答が81%と若干低い傾向にある。体育授業や体育集会等を通して、様々な運動のきっかけをつくる。
- オ 小中一貫(連携)教育の取組に関すること
 - ・小中連携については、積極的な取組が実施できていない。南大谷中学校と距離があることが弊害の一因であることから、形態を工夫して連携、交流の機会を増やす必要がある。